

(2)その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付け(ISI citation など)など。* ISI データのない場合は、可能であればいろいろな指標を使って国内的位置づけを示す。

分野	取組と成果、世界的位置づけ	18年度の状況
<p>特筆すべき教育活動</p>	<p>1.附属図書館では、平成15年から東北大学生が学習を進める上で必須のインターネットや図書館資料を利用した情報探索の情報をわかりやすく説明した冊子「東北大学生のための情報探索の基礎知識」を刊行し、学部新入生向けに毎年無料配布を行ってきた。その後、自然科学系の大学院生を対象とする「同 自然科学編」を平成16年に刊行し、平成19年には「英語版(ダイジェスト版)」、人文社会科学系の大学院生対象の「同 人文社会科学編」を刊行し、このシリーズが完成した。本冊子は、学内はもちろん要望に応じて学外へも無料配布している。また、学外へは原稿ファイルもオープンソースとして提供を続けており、他機関における情報探索マニュアルの作成を支援している。</p> <p>この取組みは学内外から高く評価され、平成17年度には国立大学図書館協会賞、東北大学総長教育賞を同時に受賞した。平成18年度には、「同 自然科学編」を一般向けに再編集した「理・工・医・薬系学生のための学術情報探索マニュアル」が商業出版社から発売された。</p> <p>2.「シラバス連携 教科書・参考図書検索システム」の対象範囲の拡充を図っている。</p> <p>3.平成16年度から、情報リテラシー教育を支援するため、全学教育科目「大学生のための情報検索術」を開講し、授業の一環としての図書館利用指導講習会の開催の拡大に努めている。</p>	<p>・「理・工・医・薬系学生のための学術情報探索マニュアル」が商業出版社から発売された。</p> <p>・「シラバス連携 教科書・参考図書検索」の拡充として、工学部シラバスと蔵書検索システムを連携した。</p> <p>・平成18年度も「大学生のための情報検索術」を開講した。また、教員からの依頼により、授業の一部として、情報検索講習会を14回開催した。</p>
<p>特筆すべき研究活動</p>	<p>1. 2. 3.</p>	<p>該当なし</p>
<p>特筆すべき社会貢献活動</p>	<p>1. 附属図書館では常設展及び毎年秋には企画展を開催し、本学保有の貴重資料等を公開し、教員と市民との直接交流を行い、総合学習や生涯教育等の支援を行っている。平成18年度は、宮城県図書館と共催し、仙台メディアテークを会場に展示企画展「江戸の遊び」及び記念講演会を開催し、多くの一般市民等の来場者を得た。展示内容は、江戸時代の娯楽文化に関する資料を「エコ(環境)」をテーマに構成し、さらに「遊び」という親しみやすい切り口から楽しく・分かり易く展示した。江戸学の宝庫「狩野文庫」と、共催する宮城県図書館所蔵の貴重資料を通して、現代の生活・暮らしと環境との関わりにも思いを巡らせる企画構成とした。</p>	<p>「江戸の遊び-けっこう楽しいエコレジャー」を実施した。</p>